

## 第4章 つくばエクスプレス（首都圏新都市鉄道）

### 第1節 4月21日（土）：つくば～守谷

つくば(9:20)～研究学園(10:35)～万博記念公園(11:44)～みどりの(13:22)～みらい平(14:40)～守谷(17:16)

第198回目のウォーキングは、2007年4月21日（土）つくば＝守谷間の20.6Kmに挑戦。本コースは昨年（2006年）の第21回わいわい会（高校同窓歩こう会）で歩こうと考えていたが、生憎父が急死したので本日となった。5時半に起床し、南林間6時59分発の電車で、代々木上原、北千住経由でつくばまで行く。費用は霞が関から北千住までが230円、北千住からつくばまでが1,000円。

途中、家内が購入した大島清先生（京都大学名誉教授・脳科学者・医学博士）の「歩くとなぜいいのか」を読みながらつくばまで行く。私の考え方と偶然にも同じ方向性であったので共鳴をより強く覚えた。しかし、人生の先輩だけあり、広い視野からまた医学の専門的立場から理路整然と論理を展開されていた。人生には出会いが三つあるらしい。一つは人との出会い。二つ目は本との出会い。三つ目は自分との出会い。その中で、二つ目の出会いである「非常にいい本」のひとつと出会いができた。今後の豊かな人生を歩む上で理論上の側面から大きな味方を得た。中でも印象に残った点は次の点である。

- ① 歩くことは趣味の王様だ。
- ② 歩くことは健康法の王様だ。
- ③ 遊び＝進む＋漂う
- ④ 歩きにも車と同様、ロー・セカンド・サード・トップがある。
- ⑤ ゆっくり道を歩くのが遊びの起源だ。
- ⑥ 「歩くこと」「食べること」は脳の幸せ
- ⑦ ウォーキングは全身の筋肉の7割使用



本を読みながら移動した関係で風景を見ず進む。従って、高架した箇所と地下に潜った箇所を頭に入れずにつくばまでの移動となる。本日のコースは 2005 年にできた新しい鉄道であるが、それに連動して幹線道路が追いついておらず苦戦を余儀なくされた。つくばには 9 時 20 分頃到着。駅でつくばエクスプレス MAP をもらい、研究学園駅を目指す。しかし、つくば駅では鉄道が地下であったため、どちらに進むべきかわからず。つくばには土浦駅経由でバスにて数年前先輩の見舞いに来たことがある。当事つくば駅は工事中であったが、何となく記憶に残っており懐かしさが蘇る。何人かの通行人に尋ねてやっと研究学園駅の方向がわかる。人工の街だけあり、道路は太く敷地も広大であった。途中松代という地名があった。つくばの近くはすべて地下と思ったが、そうでなかった。右 500m 位先に高架した鉄道を見つける。研究学園駅（秋葉原駅を起算として 19 番目の駅）には 10 時 35 分到着。駅前には香川に本店のある穴吹工務店よるビルの建設現場があった。また、研究学園駅前らしい木製のロボットや動物を飾ったベンチがあった。この駅の北側正面には筑波山が遠くに見えた。色んな道を繋いで万博記念公園には 11 時 44 分到着。その手前の川の土手には菜の花が咲き乱れていた。万博記念公園駅前には、岡本太郎作の太陽の塔に似た作品（未来を視る）があった。説明文では、1985 年国際科学技術博覧会「科学万博つくば '85」の記念と 2005 年つくばエクスプレス創業を記念して建てられたとあった。駅前には建物関連の販売店のみで、コンビニや食堂はまったくなかった。建設中の道路や林道等を通り、国道 354 号に出る。12 時 35 分、つくば市谷田部を通過。12 時 44 分、すずなりというラーメン専門店に入る。昨日の巨人＝阪神線の悪夢（4 対 1 から豊田が 4 対 5 とさよなら負け）がありスポーツ新聞は一切読む気になれず。



20 分程度休息して、みどりの駅も目指す。少し行った先で前方を鉄道が横切る。みどりの駅には 13 時 22 分到着。ここでも駅前にはマンションの工事現場があった。人口

減少の環境下で売れるのだろうか。この疑問点は、今回のつくばエクスプレス線を歩いて感じた共通事項である。ここからみらい平駅までがまた大変難しかった。途中で鉄道が地面に潜るからである。地図を見たところ、常磐自動車道があり、つくばエクスプレス線は進行方向に対し高速道路の右側になり、それで用心して13時50分、予め谷和原36で右にでる。



従って、暫く高速道路の右側をつたい歩きとなる。しかし、15分歩いたところで行き止まりとなり、再度高速道路の下を潜り左に出る。しばらく高速道路の左側を歩く。途中、できたばかりの太い幹線道路に出るが、エクスプレス線は見当たらず。少し行った先でみらい平駅の案内板があり安堵する。しかし、鉄道は一向に見当たらず。そのうちに高速道路を越える橋にぶつかる。300m位先の道路よりはるか下の方向に下り電車を見つける。何時の間にか鉄道を通り過ぎていた。グリーン屋根が印象的なみらい平駅には14時40分到着。この駅でも大和ハウス工業によるビルの工事現場があった。この駅はつくばみらい市で、平成18年3月27日、伊奈町と谷和原村が合併してできた市であった。この駅は道路より下にあった。



この駅から守谷に向かっては再度高架した鉄道が案内人となり歩きやすかった。15時18分、跳び箱の銅像が印象的な小張小学校前に来る。校庭前の道路は3m弱の道路で道幅は狭かった。右は行き止まりであった。民家の道なりを回りくねって進む。この学校は小高い丘の上にあった。丘を降りると水田が広がっていた。田植えの準備のために耕作機をつかっている農家もあった。農道を歩く。川幅10m位の中通川が前方を遮り、迂回1Km位土手歩きを余儀なくされる。ここでも土手には菜の花が満開であった。また、

魚釣り注意の旗が風で勢いよく揺れていた。16時6分、大橋がある県道46号に出る。川に沿って取手と常総の道路案内(130号)があった。16時11分、豊体(ぶたい)という地名を通過。16時46分、小貝川(つくばみらい市青木)に差し掛かる。川幅は万歩計で366歩であった。この橋を少し行った先でエクスプレス線と関東鉄道の線路が前方に現れる。手前の道をつたい歩きし、守谷駅には17時16分到着。



守谷駅

数年前のとき関東鉄道踏破当時の守谷駅とは様相が異なり近代的な駅舎に様変わりしていた。2階には関東鉄道と隣り合わせの駅となっていた。駅ビルの中には食堂があった。自宅には19時55分到着。本日の万歩計は57,723歩であった。本日はホルンズの活躍で昨日の悪夢を打ち破り5対2で阪神に勝つ。

## 第2節 4月28日(土): 守谷～流山おおたかの森

守谷(8:45)～柏たなか(12:17)～柏の葉キャンパス(13:20)～流山おおたかの森(15:36)

第2弾は、先週に引き続き、3連休の初日である2007年4月28日(土)実施。予報では午後に入ると雷雨があるとのことであった。しかし、朝起きると先ず先ずの天気であったので、当初の予定通り5時過ぎに起床し、6時半位の南林間発の電車で守谷まで移動する。8時45分位に守谷駅に到着する。今回は北千住まで700円+230円=930円要す。守谷駅で利根川を越える方法を教えてもらう。この駅で朗報な情報を得る。すなわち取手まで行かず、南守谷の先から新大利根橋有料道路に沿った歩道があり、そこから渡れるとのことであった。これで迂回が3分の1程度に短縮された。それでも迂回には1時間半程度は要するであろうが。守谷駅には5月5日の子供の日に近いこともあり、鯉のぼりが飾られていた。

守谷駅で地図には関東鉄道はあるが、関東鉄道の線路が見当たらず方向性に戸惑う。最初つくばエクスプレス(秋葉方面)に沿って歩こうとするが、関東鉄道が気になり守谷駅に引き返す。守谷駅で関東鉄道も二階に駅改札口があり、つくばエクスプレスと同じく高架していると錯覚が敗因であった。それで、駅前で信号を待っていた私と同世代の女性に地図を見せながら道を尋ねる。「駅の通りを真っ直ぐ進み、南守谷駅を過ぎた

辺りから新大利根道路があると思います。そこで誰かに聞いて下さい。」この回答から自分の現在点と方向性がやっと掌握できる。関東鉄道が非電化の電車であることをすっかり忘れていた。それで、鉄道の方向性を見誤った。つくば駅と同じ場面に出くわしたことになる。最初の第一歩に神経を費やす。何回も失敗し、逆方向に進んだ苦い経験があるからだ。総武線の佐倉駅や東海道線の島田駅・名古屋駅等の出来事が昨日のように思い浮かんでくる。しかし、今ではウォーキングの醍醐味を経験した懐かしい思い出のひとつとして残っている。

駅前で30分位うろうろするが、やっと方向性がわかりほっとする。10分位先に予想外もする感動する場面に出くわす。先程の女性が忙しい時間をわざわざ裂いていただき、私を追いかけてきて、詳細な道を教えていただく。わかりやすいウォーキングの進路として最適な道を教えてもらう。誰かに聴いていただいたのであろう。「200m位先にケンタッキーのところを左折したとことにふれあい通があります。ふれあい通を直進すると大通りに出ます。左折し直進すると、ジャスコがあります。そこを曲がって行った先に有料道路に並行した歩道があります。」世の中には親切な人がいるものである。非常に感動した。これで3度目である。一度は日立の近郊で道に迷っていたところ、自分が目標とする駅まで車に乗せてもらった。二度目は今市の近くで夕立に逢い、雨宿りをさせてもらった先で最寄駅まで車で送ってもらった。非常に心温まる思い出である。



新大利根橋

ふれあい通には9時20分到着。10分位歩いた先に常総ふれあい道路（今条橋）があり、バス停もあり賑やかな通りとなっていた。守谷市けやき台の近郊には沢山の鯉のぼりが勢いよく泳いでいた。天気も五月晴れとなり、本日の予報と反し雨の気配は全く感じられなかった。

10時7分、新大利根橋有料道路に差し掛かる。普通車は通行料として200円要するが、歩行は無料であった。有料道路の右側に歩道が続いていた。利根川の川幅は3,740歩あり。

途中1,242歩のところには守谷側の土手があった。歩いて利根川の構造を観察する。土手が外側と内側の二重構造であった。外側は多目的に使用されていた。守谷側の外側のエリアには中池があった。守谷側の内側の土手から川岸まで雑木林が続いていた。実

際の川は内側のエリアである 336 歩であった。しかも、かなり柏側の内側土手に近いところに広がっていた。柏側の内側のエリアにはグラウンドがあった。10 時 32 分、橋の途中で千葉県柏市となる。柏市側の外側エリアは水田やビニルハウスが続いていた。利根川を越えると布施橋が続いていた。歩数で 478 歩だった。新大利根有料道路から 47 号が続いていた。途中、関東鉄道バス停古谷を 10 時 58 分通過。柏市根戸の交差点を左折し、柏たなか駅を目指す。11 時 22 分、暑くなったため東京靴流通センター前で上着を脱ぐ。11 時 44 分、花野井香取神社前を通過。食べ物屋も豊富な通りであった。12 時 6 分、田中小学校近郊でつくばエクスプレス線を見つける。



12 時 17 分、やっと柏たなか駅（14 番目）に到着する。5.7Km の営業距離に迂回等で 3 時間半要す。東武バス 3 台が駅前近郊で私を追い越して行く。駅前は閑散としていた。道路より 300m 位行過ぎていた。来た道を引き返し、途中から右折し 2 Km 先の柏の葉キャンパス駅を目指す。12 時 50 分、天婦羅の食事処「はな乃」に入る。3 人の先客がいた。隣の主人が造った赤かぶをご馳走になる。

25 分位休息して、この店を出る。少し行った先に大通りがありその先に柏の葉キャンパス駅があった。この駅の近郊には食事処がいくつかあった。この駅前もビル工事をしていた。駅前の花壇には赤いつつじが咲き乱れていた。柏の葉キャンパスはマンションの集まりであった。この駅辺りから予報通り雲行きが怪しくなる。この駅から流山おおたかの森駅まで幹線道路がなく、道なき道を歩く。大回りになり道に迷いそうになる。袋小路である柏三勢工業団地に入る。14 時 20 分、昭和グラステック前を通過。前方につくばエクスプレス線が現れほっとする。線路に沿って歩く。200m 位続く森のトンネルを出ると大雨になる。運動靴が長靴状態となる。西武拝島線以来である。天気が悪いこともあり、流山おおたかの森駅の案内看板を随所で見ると駅までの道のりが非常に遠かった。橋の近郊で強風により帽子が飛ばされる。20m 位飛ばされる。流山おおたかの森駅の前でも一回りする。大雨と強風で集中力を欠き看板の情報を見誤ったためである。駅には 15 時 36 分到着となる。自宅には 17 時 45 分に到着。万歩計は 46,730 歩だった。



### 第3節 4月30日(土)：流山おおたかの森～六町

流山おおたかの森(12:00)～流山セントラルパーク(12:52)～南流山(13:44)～  
三郷中央(15:07)～八潮(16:40)～六町(18:02)

つくばエクスプレス線の総仕上げは、2007年4月30日(土)晴の中、流山おおたかの森駅から六町駅(ろくちょう)までの14.7Kmに挑戦する。折りしも今回のウォーキングは平成12年5月から起算して第200回目となる記念すべき日となった。昨日から長男が来ており、本日は歩けないと考えていたが、午後から仕事に出るとのことで急遽本コースに挑戦する。パソコンの新印刷機の設定も、長男の手助けもあり無事終了する。それで安堵した気分で総仕上げに臨むことができた。10時22分発中央林間発快速急行に乗り、北千住経由(11時41分)で流山おおたかの森駅へ向かう。流山おおたかの森駅には12時到着。北千住から流山おおたかの森駅までの運賃は500円だった。この駅が近代的な駅舎になっておりびっくりした。1年半前では想定できないほど立派であった。地上にある駅舎としては、つくばエクスプレス線で一番の駅かも知れないほど立派であった。駅前には広々とした広場があり、大鷹の模型のある花壇もあった。最近の都市計画に基づき商店街や駐車場も完備されていた。この駅は流山市にあり、健康都市宣言の町であった。数年前野田線踏破の際にはまだこの近郊は工事中であった。こんなところに駅ができるのだろうかと自問自答したものだ。

本日のコースも川越で迂回が余儀なくされる。ひとつは、流山から三郷中央にかけて江戸川越えである。もうひとつは、三郷中央から八潮にかけて中川越えである。営業距離は、六町まで14.7Kmと短い、迂回が5Km位は余儀なくされ神経を費やすコースであった。



流山セントラルパーク駅 南流山駅

流山おおたかの森駅でも第1歩を誤りそうになり、駅で工事していた人に聞く。案の定間違った方向に進もうとしていた。鉄道に沿って歩く。つくば線が右に行ったり左に行ったりする。流山セントラルパーク駅には12時52分到着。偶然にも、上下の電車が合流する。南流山駅への路でとんでもない方向（柏方面）に進んでいた。つくば線はこの近郊地下に潜っていたからだ。何となく変だと思い通行人に南流山駅の路を聞いて誤りに気づく。先程の交差点（思井福祉会館前）を右折すべきところを左折していた。300m位進んでいた。通行人（30代前後の男性）と交差点までウォーキングに関する話をしながら引き返す。「どこから来たのですか。この近郊は不案内ですか。いつから歩いているのですか。職業でやっているのですか。ホームページをいつ立ち上げるのですか。」等の質問があった。適切に回答する。交差点には13時25分に戻る。親切な通行人はこの交差点から左折。私は直進する。道路下にある流山電鉄線を13時30分越える。高松市に本店のある宮脇書店流山店前を13時36分通過。この少し行った先に南流山駅（13時44分）があった。駅舎は地上にはなく、地下鉄のような駅で駅への通路のみが道路に面してあった。この駅は武蔵野線踏破の際来たことがある。この駅もつくばエクスプレス線駅となり活気ある駅に変身したようだ。駅の越後そば南流山店（下町の王様）で昼食を摂る。新しくゆったりとした店であった。昼時間も過ぎていたこともあり、客は誰もいなかった。しかし、この店を出るときには数人の客がいた。



江戸川

J R 三郷駅

10分位休息し、武蔵野線沿って歩き、橋を目指し迂回する。この近郊は2度目である。14時11分、江戸川手前に来る。万歩計で736歩だった。江戸川を渡ると千葉県流

山市から埼玉県三郷市となる。武蔵野線の三郷駅には14時24分到着。駅前の広場を通り、江戸川に沿って歩きつくば線に戻る。途中駅前大橋を14時35分越え、県立三郷高校や三郷市役所の看板前を14時44分通過。三郷中央駅には15時7分到着する。この駅の広場もゆったりしていた。駅前の掲示板には三郷七福神めぐりの案内があった。



三郷中央駅

三郷中央 → 香岩寺 → 西福寺 → 正円寺  
→ 円福寺 → 本隆寺 → 宝蓮寺 → 大雄寺

八潮駅に向かって歩く。つくば線に沿って橋がないため、三郷中央駅から今度は逆の方向に歩いて迂回する。県道67号線（葛飾吉川松伏線）を歩く。15時36分、三郷放水路前を通過。16時3分、今回のシリーズ2回目の香取神社前を通り、16時戸ヶ崎交差点を通過する。左折すると金町方面、右折すると八潮方面だった。16時20分、中川の橋手前に到達。この川幅は万歩計で244歩だった。中川は利根川や江戸川のように河原がほとんどなかった。実際の流れている川幅は、利根川や江戸川と同じくらいであった。



三郷放水路

八潮駅

八潮駅には16時40分到着。駅舎には沢山のテナントが入っていた。駅前にはダイワリースやFRESPOの看板がある建物があった。この駅は東京都と今まで思っていた。しかし、正しくは埼玉県であった。八潮から六町にかけ、つくば線は地下に潜っているため、6号三郷線沿いに歩く。17時26分、神明六木遊歩道前に到達。この近郊から東京

都足立区に入る。石原慎太郎都知事のポスターがあった。17時33分、内匠橋（たくみ）から、6号三郷線を離れる。17時36分、足立区花畑小学校前通過。地図をみるとまもなく六町駅であった。通行人に尋ね、六町の道筋の情報を得る。17時48分、東の空には満月に近い月があった。17時55分、六町行きのバスが私を追い越して行く。消防車や救急車とも出会う。道路に沿って大和ハウス工業城東支店足立集合住宅営業所の店舗があった。18時2分、やっと六町駅に到達する。ここでも、地上に駅舎はなく、六町駅は栄光ゼミナールのビル下にあった。隣の広場にはバスのターミナルがあった。18時17分の電車で自宅には20時10分到着。本日の万歩計は39,547歩だった。



このつくばエクスプレス線（58.3Km）の踏破には4回要した。この結果、関東鉄道、野田線、武蔵野線を結ぶことができよかった。観光には接しなかったが、新しい線路のため、幹線道路がなく戦略に満ちたコースで路なき路をつないで歩くことができ面白かった。特に、利根川、江戸川、中川等を越えるのに苦勞したのが印象的であった。各駅とも駅舎が新しく快適さがあつたし、線路とホームが自動ドアで遮断されており安全性への配慮を感じた。また、トイレの設備も万全であった。

#### 第4節 10月18日（土）：六町～秋葉原

六町(10:15)～青井～北千住(12:40)～南千住(14:40)～浅草～  
新御徒町～秋葉原(16:20)

2005年10月8日（土）、曇り空の中、第19回わいわい会を実施。コースは8月24日開通したつくばエクスプレスである。昨日まで天気予報では雨空で本日の実施が危ぶまれた。本日も天気が気になり、2時、4時と2度目が覚める。2時に目が覚めたときは、雨が降り続けていたが、4時には止んでいた。それで何とか実施できると確認を深めた。5時半起床し、テレビで本日の天気予報を確認。何とか曇り空で助かった。それで、愛犬セブンを散歩に連れて行く。これまで18回のウォーキングは、運良く中止することなく運営してきた。

自宅を7時25分位に出て、小田急線とJR線を使用して、つくばエクスプレスの秋葉原に向かう。秋葉原駅の東口方面の地下につくば線の駅があった。9時5分の守谷行きで六町駅に。9時21分の到着だった。出口は3箇所あったが、一番賑やかな真中のA2の改札口に出る。桑島さんが9時31分登場。それから、順次宇賀神さん、岡崎さん、平尾さん、鶴巻さん、藤本さんが。殿は坂本さんの8名が六町に集まる。



※秋葉原駅、六町駅



※東京拘置所前、北千住駅前

10時16分の電車後続を待ち、誰もいないのを確認して秋葉原に向かう。曇り空のため、北千住方向を歩行者に確信する。本日の鉄道は北千住近郊を除き鉄道が地下のため難しい歩きとなった。特に北千住近郊の荒川越えは何回歩いても難しい。五反野親水緑地道、小菅（東京拘置所）沿いを歩き、荒川の河原に入る。ジョギングやサイクリングの人と対面。千住新橋経由で北千住駅を目指す。対岸の荒川沿いの河原では催しイベントで沢山の人が賑わっていた。その関係で北千住新橋も歩行者で一杯であった。これまで数回この橋を渡ったが初めての経験である。昼食時間のため蕎麦屋を探したが、駅への通りには蕎麦屋が見当たらず。わいわい会では年輩の方が多くことと軽く一杯飲みたいこともあり蕎麦屋を探す訳である。結局、北千住駅前のビル9階の志庵で昼食（12時40分）となる。1時間位懇談後、午後のスタートとなる。午後からの参加の矢野さ

んと志庵の前で合流。旧日光街道を通り、北千住大橋を目指す。途中、千住宿歴史プチテラスに立ち寄り記念写真。足立市場（14時25分）の手前に芭蕉の石像もあった。14時40分、南千住駅に到着。罪人の霊を収めた回向院（えこう）があった。数十年前まで開かずの踏切跡を通り、泪橋（なみだ）に。この橋は江戸時代死刑囚が家族と最後の別れにした場所とのこと。途中、金木犀（座間市の樹木）が黄色い花を咲かせていた。昭和通りを通り、上野駅の近郊をつたい歩きをして、16時20分秋葉原駅に全員無事辿り着く。天気にも恵まれ、最高のウォーキング日となった。駅前の和民で反省会。木内さんが17時頃合流。これで10名の参加となる。19時20分迄歓談して、打ち上げとなる。非常に充実した一日であった。自宅には寄り道をした関係で21時40分となる。本日は万歩計を忘れたため、測定できなかったが、2万歩で記録する。



南千住駅

秋葉原駅